

平成 29 年 5 月 21 日

大学関係者各位

第 38 回大学職員「人間ネットワーク」運営委員会

## 第 38 回 大学職員人間ネットワーク【愛知大会】のご案内

第 38 回大学職員人間ネットワークを以下のとおり実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【テ ー マ】 「大学職員のキャリア形成」

【講 師】 夏目 達也氏(名古屋大学高等教育研究センター教授)

【開催日時】 平成 29 年 7 月 1 日(土) 13:30~(当日の詳細は次頁以降をご覧ください。)

受付 12:30 より

【会 場】 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス(愛知県名古屋市東区矢田南 4-102-9)

【参加費】 研修会 (会員:無料/一般:1,500 円)

情報交換会1 (会員・一般:5,000 円)

※参加費は当日受付でお支払いください。

※情報交換会1はキャンパス内のレストランで開催します。情報交換会2も計画しております。

【宿 泊】 宿泊は各自で手配をお願いします。(中区栄を推奨します。)

【参加申込締切】 平成 29 年 6 月 15 日(木) **次頁の申込みURL** からお願いします。

### 《第 38 回 開催趣旨》

今、皆さんは大学職員としての今後のキャリアを明確に描けているでしょうか？大学を取り巻く環境の変化に伴い、大学職員に求められる役割は多岐にわたり、かつ高度化しています。大学職員の資質能力向上の必要性から、SD が義務化され、高度専門職(リサーチ・アドミニストレーター(URA)、IRer、産官学連携コーディネーター、アドミッション・オフィサー、カリキュラム・コーディネーターなど)の設置が議論されている状況の中、我々大学職員は、何を目指し、どのようなキャリアを歩んでいけばよいのでしょうか？

今回は、大学職員のキャリア形成について長年研究をされている名古屋大学高等教育センターの夏目達也教授を講師にお迎えし、大学職員論に関する先行研究や諸外国の大学職員のキャリアパスについて事例を紹介していただきながら、これからの私たちのキャリアパスについて考えます。

また後半は、世代別のグループに分かれてディスカッションを行い、それぞれの世代のキャリア観や抱える問題などを共有したいと思います。

今後のキャリアが明確に描けている方も将来に不安を抱えている方も、こらからのキャリアがよりよいものになるよう一緒に考えましょう！

=====

本会は 17 年前、大学職員の学びの選択肢がさほど多くなかった時期に、「サロン」的な雰囲気と人とのつながりをコンセプトとして誕生しました。今回も、大学や教職員の枠を超えたサロンの中で皆様と創発的な学びの場を共有したいと思います。どうぞお気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。

\*\*\*\*\* 開催詳細・お申込みなど \*\*\*\*\*

《7月1日(土)》 研修会

- 12:00～12:30 会員総会
- 12:30～ 受付開始(場所:南館 DS102 教室前)
- 12:40～13:15 キャンパスツアー (希望者は受付前までお越しください)

◆第1部 研修

- 13:30～13:45 開会
- 13:45～15:15 基調講演
- 15:30～16:30 グループディスカッション
- 16:45～17:00 討議内容共有
- 17:00～17:20 講師講評・総括
- 17:20～17:30 写真撮影、閉会

◆第2部 情報交換会

- 18:00～20:30 情報交換会1 『MUガーデンテラス』(キャンパス内)  
(このあと、栄界限にて情報交換会2も現在企画中)

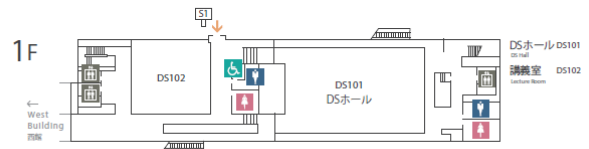
【会場へのアクセス】

- 名古屋市営地下鉄 名城線  
「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩約3分
- JR 中央線・名鉄瀬戸線・名古屋市営地下鉄  
名城線  
「大曾根」から徒歩約10分



南館  
South building

学びの場を中心にしたつくりが特徴。約400名収容可能なDSホールや講義室、多目的室、コンピュータ教室やゼミ室、研究室などが設置されています。



# 《7月2日(日)オプションツアー》

～徳川家康公の郷 岡崎をたのしむ～



岡崎は徳川家康公の生誕の地で、名古屋飯には欠かせない『八丁味噌』も岡崎が発祥です。その他、ゆるきゃら『オカザえもん』など、みどころいっぱいの名古屋市の東部に位置する西三河地方の中心的な街です。今回は魅力ある岡崎城下の散策を企画しました、お楽しみにください。



名古屋駅  
金の時計

## ◆スケジュール◆

- 9時00分 集合 名古屋駅 金の時計 → 移動 名鉄名古屋⇒東岡崎
- 10時00分 観光 岡崎城

<https://okazaki-kanko.jp/okazaki-park/feature/okazaki-jo/top>

三河武士のやかた家康館

<https://okazaki-kanko.jp/okazaki-park/feature/ieyasukan/top>

八丁味噌工場見学

<https://okazaki-kanko.jp/feature/miso/top>

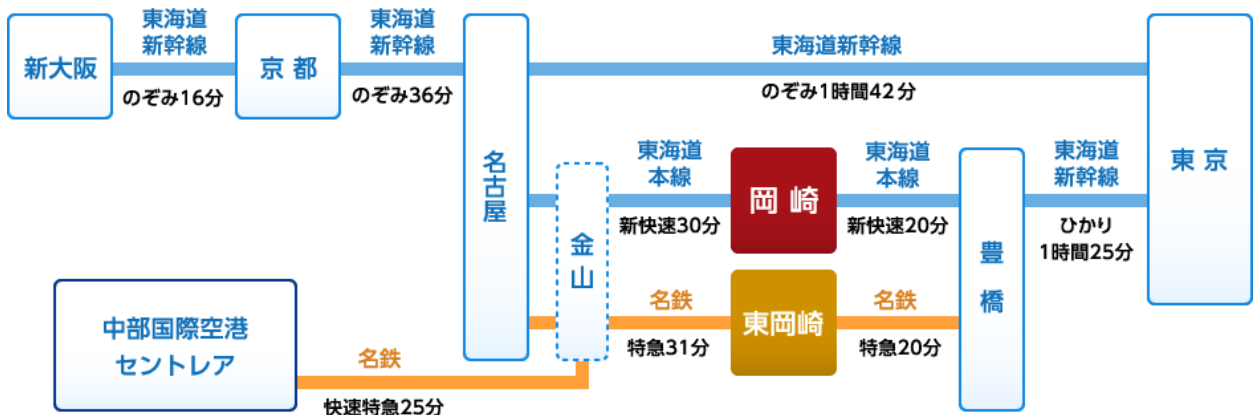
- 12時30分 昼食 八千代本店 <http://yachiyohonten.jp/>
- 13時30分 現地解散



## ◆費用◆

5,000円ほど（岡崎城入城料、八丁味噌工場入館料、昼食等）

※交通費は各自別に支払ってください。



《参加申込》 以下 URL より必要項目を指定してください。

<https://goo.gl/hzf3ZJ> 申込み締め切り：平成 29 年 6 月 15 日（木）

●お願い 次の点についてご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 参加者間の交流促進のため、資料として参加者名簿を配付いたします（項目は、所属大学名・部署名・氏名・メールアドレスです）。予めご了承ください。
- ② 会員の方は身分証になりますので必ず会員証をご持参ください。

問い合わせ先 大学職員「人間ネットワーク」

会長：竹山優子 takeyama(a)chikushi-u.ac.jp



## 【大学職員「人間ネットワーク」の概要】

### 【設立趣旨】

我が国の私立大学においては、約半数が定員割れの状況に陥り、大学職員が激動の時代に対してどのように対処すべきかを、所属大学だけで解決していくには大変難しくなってきた。言い換えれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めていくことが不可欠であると考え、私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要であると1998年(平成10年)に有志私立大学職員により設立されたのが本会の始まりである。

私ども大学職員「人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の国公私大、教職員の枠組みを超えて相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士が深く突っ込んだ意見交換をするにより自己啓発を促し、各人が自在にコントロールできる資源の一つとして「人的ネットワーク」を提供することが目的である。

今現在それぞれの大学において直面する問題は多様化してきており、自組織のみで思考し解決していくという状況ではなくなっている。日本の大学が、国公私大の枠組みだけでなく、大学間の垣根を越え真剣に議論し、共生する時代の到来であると考えた時、大学職員は大学職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の人的情報ネットワークが必要であり、そのために大学職員「人間ネットワーク」の存在が重要な位置づけとなってくるであろう。

故に多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかりとなればと考える。大学職員「人間ネットワーク」は、大学が健全に共生できるための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたい。

(2015年10月)

### 【これまでの活動履歴】

	開催地	開催日	幹事校	主な討議テーマ	主な講師
第1回	愛知	平成10年12月		21世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について	
第2回	東京	平成11年6月	日本大学 理工学部	履修登録システムの事例報告	
第3回	京都	平成11年12月	龍谷大学・ 京都外国語大学	FD活動についての現状報告	
第4回	福岡	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて	

第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川県大学	「著作権」についての理解	水谷 俊之
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」	川東 正美
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証	齋藤 聡 他
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは	近藤 伊佐夫
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討	海老原 直人
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは	水谷 俊之
第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について	
第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム清心女子大学	学生のキャリア形成について(続)	藤原 久美子
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について	高村 麻実
第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について	(グループワークのみ)
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題	宮下明大 他
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学	
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える	園田 博美
第18回	東京都	平成19年6月	大正大学	高等教育のデザインと大学人の役割	寺崎 昌男
第19回	広島県	平成19年12月	広島国際大学	これからの学生支援のあり方と大学職員の役割	坊岡 正之
第20回	静岡県	平成20年8月	10周年記念大会	大学自主防災論	長尾 年恭
第21回	京都府	平成20年12月	京都文教大学	私立大学「働き場」のメンタルヘルス	川畑 直人
第22回	福岡県	平成21年7月	西南学院大学	『「カネ」と「教育」について考える』	秦 敬治
第23回	東京都	平成21年11月	東京農業大学	『「カネ」と「教育」について考える PART2』	高野 克己
第24回	岡山県	平成22年5月	就実大学	『大学職員力を考える』	(ディスカッション)
第25回	愛知県	平成22年10月	東海学園大学	『大学職員力を考える PART2』	寺崎 昌男
第26回	兵庫県	平成23年6月	大手前大学	『大学自主防災論』	浅野 英一
第27回	東京都	平成23年12月	玉川大学	『大学職員の育成について考える -国立大学の事例からの考察-』	樋口 浩朗他
第28回	福岡県	平成24年6月	九州国際大学	大学の使命 第1弾 『学生の質保証のためのカリキュラム』	山本 啓一
第29回	愛知県	平成24年12月	中部大学	大学の使命 第2弾 『大学職員道』-大学を変える、職員が返る-	中元 崇
第30回	大阪府	平成25年6月	追手門学院大学	大学の使命 第3弾 『学士課程答申以降の大学改革に果たす職員の役割』	川嶋 太津夫
第31回	東京都	平成25年12月	国士館大学	大学の使命 第4弾 『おちこぼれ大学職員』・『ワールドカフェ』	下村 誠
第32回	福岡県	平成26年6月	九州大学(大橋キャンパス)	大学の使命 第5弾 『職員があらためて知ること・問うこと』	船戸 高樹
第33回	愛知県	平成26年12月	椙山女学園大学	大学の使命 第6弾 『わたしたち職員が“育つ”学びとは』	池田 輝政
第34回	京都府	平成27年6月	京都学園大学	大学の使命 第7弾 『障がい学生支援と障害者差別解消法を考える』	村田 淳
第35回	広島県	平成27年11月	広島工業大学	大学の使命第8弾 学生の主体的学びへの支援 学びを促進する学習支援とアカデミックアドバイザー	清水 栄子
第36回	東京都	平成28年7月	東京家政大学	大学を創る、未来を創る「大学史の原点と未来。不可視の未来を見据え、今何をすべきか」	寺崎 昌男
第37回	福岡県	平成28年11月	筑紫女学園大学	本物の職員力「SDの義務化、その背景とこれからの職員論」	篠田 道夫